

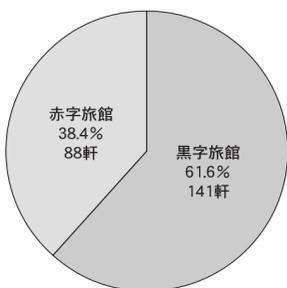
国観連 営業状況等統計調査

赤字旅館 4割、稼働率は上昇

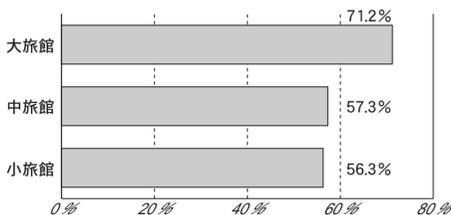
平成18年度決算書などに基づくデータ

経常赤字の旅館は
全体の38.4%

黒字・赤字旅館の割合



規模別黒字旅館の比率



売上高は全規模で上昇

総売上高・年間宿泊人員(1軒当り)

年度(平成)	平均	大旅館	中旅館	小旅館
総売上高(万円)	13	110,745	229,531	74,550
	14	112,874	220,620	71,676
	15	107,336	217,279	69,292
	16	110,733	222,954	69,207
	17	97,695	207,111	64,847
18	110,730	219,236	68,430	
年間宿泊人員(人)	13	56,982	121,113	37,548
	14	58,570	117,495	36,450
	15	58,226	122,081	35,718
	16	57,149	119,324	34,043
	17	52,362	112,162	34,995
18	58,209	112,667	40,150	

宿泊客1人当り売上(単位:円)

年度	平均	大旅館	中旅館	小旅館
客1人当り売上高	平成13年	19,435	18,952	19,855
	14年	19,272	18,777	19,664
	15年	18,608	17,798	19,740
	16年	19,376	18,685	20,329
	17年	18,658	18,465	18,530
18年	18,944	19,459	16,917	
客1人当り宿泊料売上	平成13年	12,984	12,616	13,263
	14年	13,602	12,556	13,517
	15年	12,549	11,935	13,307
	16年	13,221	12,804	13,637
	17年	12,757	12,570	12,691
18年	12,763	13,295	11,124	
客1人当り飲食料売上	平成13年	1,508	1,469	1,567
	14年	1,421	1,401	1,447
	15年	1,429	1,388	1,489
	16年	1,413	1,453	1,321
	17年	1,315	1,282	1,352
18年	1,497	1,651	1,183	
客1人当り売店売上	平成13年	1,518	1,707	1,246
	14年	1,488	1,667	1,175
	15年	1,373	1,506	1,159
	16年	1,461	1,598	1,232
	17年	1,380	1,561	1,125
18年	1,351	1,593	927	

定員稼働率の下降に
歯止めがかかる

定員稼働率・客室稼働率(単位:%)

年度	平均	大旅館	中旅館	小旅館	
定員稼働率	平成13年	39.8	43.3	36.1	30.1
	14年	40.2	43.1	36.2	32.0
	15年	39.8	42.9	35.8	30.7
	16年	39.5	42.5	35.5	28.9
	17年	38.7	41.0	36.3	30.6
18年	41.6	43.0	40.5	30.7	
客室稼働率	平成13年	61.5	65.8	57.0	45.4
	14年	62.1	65.1	57.1	48.8
	15年	62.9	66.0	58.3	49.7
	16年	61.3	64.5	56.7	47.5
	17年	62.3	65.4	58.3	53.1
18年	64.3	63.3	58.5	58.1	

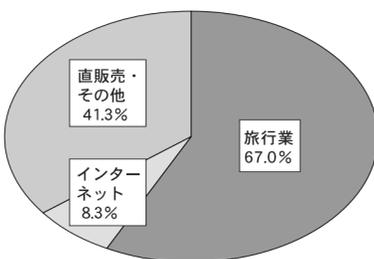
定員稼働率(地域別)(単位:%)

18年度	大旅館	中旅館	小旅館
北海道	40.0	46.0	23.8
東北	42.2	35.5	32.7
関東甲信	58.9	71.3	34.0
伊豆箱根	44.4	38.9	20.1
中部	42.4	37.9	27.0
近畿	40.5	43.2	38.6
中国	42.8	37.4	26.3
四国		39.6	25.9
九州	48.8	28.9	24.2

「旅行業依存度」が上昇

全宿泊人員に占める旅行業による送客人員の割合を示す「旅行業依存度」は、バブル崩壊以降、低下傾向にあったが、平成16年度からはやや上昇傾向にある。インターネット経由の宿泊人員は、近年伸び続けているが、下記の数値のうち、自社サイトの比率は大旅館3.7%、中旅館4.7%、小旅館9.0%だった。

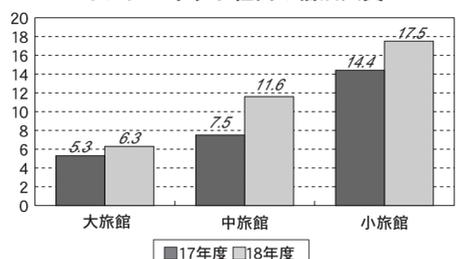
宿泊人員構成



旅行業依存度(単位:%)

年度	平均	大旅館	中旅館	小旅館
平成13年	63.8	67.7	59.5	39.5
14年	63.7	66.8	59.3	39.3
15年	63.6	67.1	58.7	36.0
16年	64.1	67.6	59.2	39.6
17年	65.3	69.2	60.6	38.3
18年	67.0	71.1	61.4	39.9

インターネット経由の宿泊人員



国際観光旅館連盟(佐藤義正会長、1306会員)はこのほど、会員旅館の平成18年度決算書などを対象にした営業状況等統計調査の結果をまとめた。経営損益で赤字を計上した旅館の全体に占める割合は、前年度から1.5%低下したものの、依然として高く、38.4%に上った。客1人当たりの売上高は平均1万8444円で1.5%増加。定員稼働率は、これまでの減少傾向から若干の上昇に転じ、2.9%増の平均41.6%で6年ぶりに41%台に乗った。宿泊状況などに回復の兆しもみられるが、過去の借入金負担などを背景に、旅館の経営環境は総じて厳しい状態が続いている。今回の調査に対する回答旅館は229軒。内訳は大旅館100室以上が73軒、中旅館(31室以上99室以下)が124軒、小旅館(30室以下)が32軒。平均規模は客室数87、収容396人となった。

回答旅館:229軒

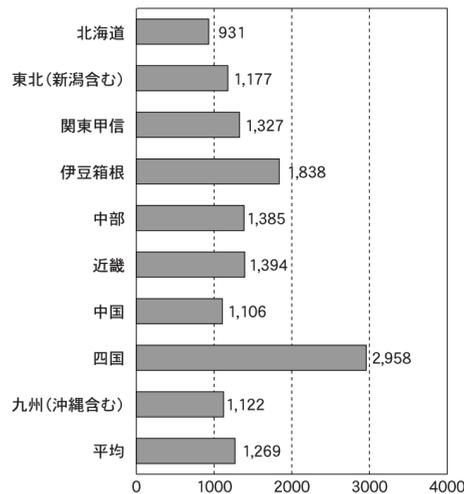
1室売上高は、
大旅館以外で増加

売上効率(単位:万円)

年度	平均	大旅館	中旅館	小旅館	
1室当り売上高	平成13年	1,292	1,360	1,214	1,155
	14年	1,289	1,333	1,211	1,285
	15年	1,228	1,266	1,173	1,172
	16年	1,262	1,306	1,200	1,140
	17年	1,202	1,244	1,150	1,117
18年	1,269	1,233	1,153	1,327	
就業者1人当り売上高	平成13年	1,139	1,277	1,004	857
	14年	1,115	1,209	979	974
	15年	1,076	1,186	949	845
	16年	1,114	1,248	958	826
	17年	1,113	1,253	977	832
18年	1,264	1,411	1,027	1,162	

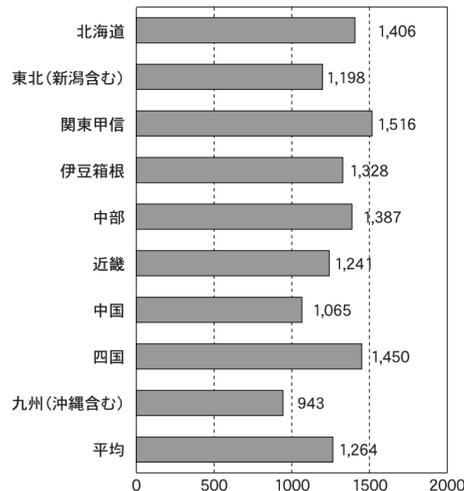
地域別1室当り売上高

(単位:万円)



地域別就業者1人当り売上高

(単位:万円)



調査データ